

平尾地区の県道拡張を

県道長島宮之浦港線（平尾地区）整備の早期実現に向けた『現地調査および意見交換会』が7月24日、平尾交差点と老人憩いの家でありました。

午前7時30分に川添健町長をはじめとする町関係者や町議会議員、中村眞県議会議員、県関係者、地元関係者らが平尾交差点に集合して現地を視察。交差点や道路の混雑具合、離合の危険性などを確認しました。

その後、会場を老人憩いの家に移して意見交換会が行われ、地元住民らから「大型車が多く通行するので非常に危険だ」「農協の前あたりの危険は身近に感じる」「早急な改良をお願いしたい」などの意見や要望が出されました。



町道（左）より交通量の多い県道（右）の方が道幅が狭い平尾の交差点

町長と認定農業者と語る会を開催

7月24日、長島町開発総合センターで町長と認定農業者と語る会を開きました。

平成21年度長島町認定農業者連絡協議会総会終了後に開かれた同会には、認定農業者54人のほか、町、長島町農業委員会、北薩地域振興局農林水産部出水支所、鹿兒島いずみ農業協同組合関係者らが出席しました。

認定農業者からは、農業経営の改善につながる切実な意見・要望が出されました。

主な意見・要望は次のとおりです。

○町有地を整備し、採草地として畜産農家に貸し出してほしい。

○イノシシ被害に苦しめられている。自己による対策では限度があるため町で何らかの対策を取ってほしい。

○農地の客土・造成への補助金の対象件数を増やしてほしい。



↑語る会の様子

○土壌診断や営農相談をしたが、JA、普及センターの指導員だけでは対応できていない。町で専門員の配置をお願いしたい。

○農家の所得補償を考えてみてはどうか。

意見・要望に対し、町長や関係職員から、「農業経営における所得アップは大切なことであり、予算補正等を考えながら、要望に添える施策に取り組んでいきたい」などの回答が出されました。